

平成 29 年度 第 1 回 エンデューロ委員会 議事録ダイジェスト

開催日：2017年4月20日(木) 午前10時30分～午後4時45分 終了

開催場所：東京都中央区築地・MFJ 会議室(東京都中央区築地 3-11-6 築地スクエアビル 10F)

- 東北エンデューロ部会長に平地直樹氏が就任され、MFJ エンデューロ委員となった。

1. 前回議事録の確認と継続審議事項について

- 平成 28 年度 第 2 回エンデューロ委員会議事録 (2016 年 11 月 9 日)

- ① エリア選手権シリーズのナショナル(N)からインターナショナル B(IB)への昇格人数について、下記に移行されました。

2017 国内規則記載済 →

北海道	エリアナショナル 1~3 位	申請昇格
東日本	エリアナショナル 1~3 位	申請昇格
中日本	エリアナショナル 1~3 位	申請昇格
西日本	エリアナショナル 1~3 位	申請昇格
九州	エリアナショナル 1 位	申請昇格

- ② ナショナルクラス内での技量格差が大きくなり、コース・タイム設定等に弊害が発生し始めている為、2018 年より、ナショナルクラス(N)をナショナル A(NA)とナショナル B(NB)に分類することが決定しました。また、この時点でインターナショナル A(IA)、インターナショナル B(IB)、NA、NB のクラスごとにライセンスを製作し、発給することも併せて決定しました。
- ③ JEC プロモーションからの要望を受け、2017 年度全日本選手権シリーズにおける安全対策として、MFJ より各主催者へコーステープの半額が支援されました。
- ④ 「主催者推薦」のガイドラインは設定せず、JEC と主催者間の判断に委ねることが確認されました。
※後の作業部会にて、2018 年からの「主催者推薦」規則の廃止が決定。

- ナショナルクラス分類の為のワーキンググループ (2016 年 11 月 9 日 ※委員会終了後)

- ① 全日本ランキング指針 → 2017 全日本ナショナルクラスのポイント獲得者は、NA とする。
- ② エリアランキング 指針 → 2017 エリアナショナルランキングで IB 昇格を申請しなかった者は NA とする。
2017 エリアナショナルランキングの 20%を目安に NA とする。
- ③ 上記の指針を 1 月中(2017 エリア選手権開幕前まで)に具体的にまとめ、公示することとしました。

- 平成 28 年度 第 1 回エンデューロ作業部会 (2017 年 1 月 19 日)

- ① ナショナルクラス 2 分化について協議が行われました。

決定事項

- ・ ウィメンズクラスのライダーの分類は？ → ナショナル B(NB)とします。
- ・ 2017 エリアナショナルランキングの 20%とした NA と NB の境界線の設定は？
→ 北海道(15 位以内)、東日本(9 位以内)、中日本(6 位以内)、西日本(6 位以内)、九州(3 位以内)を NA とします。

- ② 2018 年からのライセンス区分明確化に伴い、以下規則の訂正が提案されました。

決定事項

2018 年より RD 国際/MXIA/TRIA の選手が初めてエンデューロライセンスを追加取得する場合、EDIA/EDIB/EDNA/EDNB のいずれかから選択し申請することを可能とします。

これに伴い … 2018 年より修正 (2018 国内競技規則 33 頁 8-11-6)

または当該年度有効なロードレース国際・モトクロス国際 A 級・トライアル国際 A 級ライセンス所持者で、初めてエンデューロライセンスを追加する者は、エンデューロ国際 A 級・国際 B 級・国内 A 級・国内 B 級のいずれかを選択しライセンスを申請することができる。(年齢を問わない)

※初回、追加申請したライセンスから昇格する場合は、成績による昇格規定を満たすかまたは特別昇格申請にて認められなければならない。

2018年より以下を削除（2018国内競技規則 310頁 6-1-1-2） = 規則廃止

「主催者推薦」

他種目で優秀な成績を収め、大会主催者が認めた場合に限り、インターナショナルAクラスに出場することができる。
(ただしエンデューロ国際ライセンスの追加登録を必要とする)

2018年より以下を削除（2018国内競技規則 310頁 6-1-1-3） = 規則廃止

当該年度有効なモトクロスIAまたはトライアルIAライセンスに登録され、かつエンデューロ国際ライセンスを所持する者が、インターナショナルBクラスにおいて1度でも優勝し、かつエンデューロインターナショナルAを含めた総合結果の5位以内の成績を収め、エンデューロ委員会へ申請し、認められた場合は、シーズン中でもインターナショナルAクラスへクラス変更することができる。

<2017年1月31日付、公示文章>

2018年1月1日より、MFJエンデューロ公認競技会における開催クラス区分ならびにライセンス区分が改訂されます。



さらに、2018年1月1日より、以下の規則が改訂される予定です！

- ◇ 有効なRD国際（RINT）、MX国際A級（MXIA）、TR国際A級（TRIA）所持者がエンデューロライセンスを追加で取得する場合、初回に限り、エンデューロ国際A級（EDIA）、国際B級（EDIB）、国内A級（EDNA）、国内B級（EDNB）のいずれかを選択し、取得することができることとなります。

※これに伴い、2017国内競技規則 6-1-1-2「主催者推薦」、6-1-1-3「シーズン中のクラス昇格」（310頁）は廃止されます。

決定事項

- ウィメンズクラスの出場資格は、NB～IA いずれの資格を持つ女性であることを統一解釈とします。
- インターナショナル A クラスの登録と自動降格基準について、以下の通りとします。
2017年4月20日時点でインターナショナル A クラスのリストに登録されている69名と17年度全日本&エリア選手権シリーズからの昇格者と本年度の主催者推薦、シーズン途中のIBからの昇格者を加えて、「インターナショナル A ライセンス登録者」として、2018年1月1日付で上記登録者を会員システムに登録する。
2018年1月1日より、モトクロス自動降格基準を適用する。

10 自動降格の基準

10-1 ライセンスの更新がなされなかった場合は、その欠格期間（ライセンスを取得しなかった期間）によって次表のとおりライセンス等級が自動降格される。

●自動降格基準表 ※2017年度ライセンスを取得した場合

最終 ライセンス取得年	種目 部門	モトクロス				トライアル				ロードレース エンデューロ	スノーモビル ドラグレース
		国内B級	国内A級	国際B級	国際A級	国内B級	国内A級	国際B級	国際A級	国際	A級
'15年(欠格1年)		〃	国内A級	国際B級	国際A級	国内B級	国内A級	国際B級	国際A級	国際	A級
'14年(欠格2年)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	国際	〃
'13年(欠格3年)		〃	国内B級	〃	〃	〃	国内B級	国内A級	〃	国際	〃
'12年(欠格4年)		〃	〃	国内A級	国際B級	〃	〃	国内B級	国際B級	国内	B級
'11年(欠格5年)		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	国内	〃
'10年以前		〃	〃	〃	国内A級	〃	〃	〃	国内A級	国内	〃

なお下記規則も併せて適用とします。

- 10-2 過去に各種目の年間世界チャンピオンとなったものは自動降格基準表に関わらず当該種目の最上級部門のライセンス申請とする。申請時にMFJ事務局に連絡を必要とする。
- 10-3 過去に各種目の全日本最上級部門（現ロードレース国際、モトクロス国際A級、トライアル国際A級）で各クラスの全日本年間チャンピオンは希望により自動降格基準表の対象外となることができる。ただし、最上級部門を再申請する場合は、MFJ事務局に連絡を必要とする。
- エンデューロライセンスの再昇格規定について、2018年1月1日より新たに設定します。
 - ・ 降格したクラスにおいて、全日本またはエリアで優勝した場合、本人の希望があれば再昇格を申請することができます。（優勝を証明する書類を添付することを条件としてエンデューロ委員会の承認は必要無い）
 - ・ 再昇格は、降格した後初めてライセンスを更新した年にも適用されるものとします。
 - ・ 2段階降格した者は、降格した後初めてライセンスを更新した場合の年内であれば2段階再昇格が認められます。（例：2018年にライセンス更新した際IAからNAに自動降格した場合、2018年内の全日本またはエリアシリーズのNAで優勝した場合、IBへの再昇格が申請できます。さらに2018年のIBで優勝した場合、IAへの再昇格を申請することができます。）
 - 2018年1月1日からの新クラス施行に対して、ライセンスの発行は2018年4月1日からとなる為、2018年1月1日～3月末日までの期間の手持ちのライセンスへの対応として、「新階級のステッカーを支給し、各自で既存のライセンスに貼付して頂く」か「新階級のライセンスを発行し、既存のライセンスと差し替えるか」、いずれかの対応を事務局で検討します。

継続審議

- 2018年からの全日本・エリアシリーズで開催されるクラスについては、2017年の参加状況などを考慮し、継続検討となりました。
- 2018年からのライセンス昇格基準について
(案) ※現状をベースに検討されましたが、2017年の参加状況などを考慮し、継続検討となりました。
 - IB→IA: 全日本IBシリーズランキング1位～3位（自動昇格）
エリア(北海道・東日本・中日本・西日本・九州)IBシリーズランキング1位（申請昇格）
 - NA→IB: 全日本NAシリーズランキング1位～8位（自動昇格）
エリアNAシリーズランキングにおける下記の者（申請昇格）
北海道(1位～3位)、東日本(1位～3位)、中日本(1位～3位)、西日本(1位～3位)、九州(1位)
 - NB→NA: 全日本NBシリーズランキング〇位～〇位（要調整）

NB→NA: エリア NB シリーズランキングにおける下記の者(要調整)

北海道(4位～15位)、東日本(4位～9位)、中日本(4位～6位)、西日本(4位～6位)、九州(2位～3位)
いずれも、同点者がいる場合、同点者を昇格対象に含む。

③ 全日本シリーズのエントリー優先順と最大定員の設定について提案されました。

※定員設定は望ましくないが会場の許容範囲、コース、渋滞などを考慮した上で設定せざるをえない。

決定事項

◇最大定員(目安) …… 第1戦広島:120台、第2戦コスモ:120台、第3戦日高:200台、SUGO:130台
※最大定員数はあくまで目安とし、大会主催者とJECプロモーション間で判断する。

※事前公示

「参加台数が定員数を満たした場合、承認クラスを開催しない可能性があります」

◇エントリー優先順 …… 第①優先 : IA、IB、W、ナショナル(全日本・エリア選手権ポイント獲得者)
前年(2016年)度または今年(2017年)度

第②優先 : ナショナル(全日本・エリア選手権ポイント未獲得者)

第③優先 : 併催、承認クラス(B、C、CW) ※実施できない場合もある。

④ ISDEトロフィーチームの出場手続きについて

決定事項

※前年度全日本 IA シリーズランキングをベースに選出されました。

◇ 2017トロフィーチーム 鈴木健二選手・内山裕太郎選手・前橋孝洋選手・滑川勝之選手

◇ チームスタッフとして、平地委員・春木委員・中嶋委員がチームと帯同することが報告された。

※2018年度より、ISDEトロフィーチーム選出基準について、以下の通りとします。

A) 前年度全日本 IA シリーズランキング 1位～5位の者から選出される。

B) A)で4名が揃わない場合、エンデューロ委員会から選出することができる。

⑤ 当該クラスの参加台数の50%以上がタイムオーバーにより失格となった場合、競技終了後、「緊急事態」が発令されたクラスに対し、当該大会審査委員会は、当該クラス参加者の50%以上が順位を付けられる周回までさかのぼり、リザルトを改訂することができる ……との規則改訂案が提案されましたが、50%のガイドラインが適正なのか？また、競技終了後にさかのぼってリザルトを改訂する対応は選手にとって不利とならないか？等の見解を考慮し、本会で再審議されました。

決定事項

現行規則通り、下記部分を適用し、50%のガイドライン案は棄却されました。

● 322頁 27タイムチェック 27-2 設定の基準

タイムチェックは、各タイムチェック間の走行タイムとともにルートカードに表示される。距離は「キロメートル(km)」で表示される。タイムチェック間の距離は、5km～35kmが推奨される。タイムチェック間の最大平均速度は50km/hとする。2つのタイムチェック間に割り当てられた時間が、安全上または遵守すべき交通法規上困難な場合、競技監督および審査委員会は、割り当てられた時間の延長または当該クラスに出場する70%以上のライダーがタイムペナルティーを受けた場合にはそのペナルティーをキャンセルすることができる。

また、不測の事態を想定し、タイムスケジュールは随時変更できるよう、以下規則を改訂します。

● 322頁 27タイムチェック 27-3 スケジュールの変更

不可抗力の理由(天候の悪化等)により競技監督は、スタート前または各ラップの前に遅れることを見込んだタイムスケジュールの変更をすることができる。 (削除)

さらに、リザルトの最終権限は審査委員会に委ねられることを明記する為、以下の通り改訂します。

● 328頁 41「結果の発表」

→ 41「競技結果」

全日本各クラス各日の完全な結果は、可能な限り迅速に公表されなければならない。いかなる問題が発生した場合でも1日目の結果は2日目のスタート前までに公表されなければならない。
不可抗力の理由(天候の悪化等)が発生した場合、審査委員会は、競技運営団との協議の上で最終結果を発表する権限を持つ。

- ⑥ 全日本 IA・IB で「60 分以上タイムオーバーは失格」規則について短縮すべきと提案され、以下の通り決定しました。

決定事項

- タイムリミットの規則について、原則は 60 分以上とするが、IA・IB は時間短縮を可能とし、大会特別規則で公示することができる。
- 2017 年国内競技規則 324 頁 29 タイムリミットに以下反映済
オリジナルタイムより 60 分オーバーした者、および早・遅着のペナルティー合計が 60 分以上となった者は失格とされる。大会により IA・IB はタイムリミットの設定が変更される場合がある。変更される場合は、大会特別規則または公式通知により公示される。
- 統一解釈:「60 分以上タイムオーバー失格」となった場合でも、選手には競技を続行させることを原則とする。

- ⑦ 渋滞緩和対策を目的とした全日本出走順の改訂について、以下の通りとすることが決定しました。

決定事項

2017 年度全日本 ED 選手権シリーズの IA (インターナショナル A)、IB (インターナショナル B)、W (ウィメンズ) クラスは、以下の出走順を適用する。

- 第 1 戦 …… 前年度当該クラスランキング上位順(年間指定ゼッケン番号の若い順)
→ 上記以外はゼッケン番号の若い順
- 第 2 戦以降 …… 前戦までの当該クラス暫定ランキング上位順
→ 上記以外はゼッケン番号の若い順

※タイム表で管理可能であるが、パルクフェルメの整理に関して主催者・JEC の作業負担が大きい。
台数の多いナショナルクラスは、2017 年上記クラスで試してみた上で検討する。

- ⑧ コース・タイム設定などの事前査察に、選手会代表者を同行させてほしいとの要望が選手会から挙げられました。

決定事項

- 2017 年度全日本シリーズにおいては、大川原選手会長が、2DAY の場合は(金)、1DAY の場合は(土)の午後 1 時(13 時)頃を目途に開始する査察に同行して頂く。※ただし、今後永続的なものではない。
- 査察の車両は、主催者が準備したものを使用する。(競技参加車両は使用しない)
→ 「競技会に先立って実施されるコース査察は、参加者レベルに合わせた安全性の確保が必要なことから選手会代表者(大川原潤選手会長)とともに実施することを全大会公式通知で公示する。
広島大会のウィメンズクラスは、ナショナルクラスと同一ルートを検討しているが、タイム設定を緩め、迂回路などもあらかじめ検討する。

- ⑨ IA と IB 以外のクラスに対し、2 日大会の場合は 1 日目終了後パルクフェルメ管理の為、事実上作業はできないことを前提とし 2 大会の場合 1 日目にリタイヤしたライダーのマシン整備とレース中のマシン整備の制限を撤廃してもよいのではないかと提案について、審議されました。

決定事項

現状通り、全日本選手権シリーズの公認クラス(IA、IB、N、W)・併催承認クラスとも作業を禁止とする。
エリア選手権シリーズにおいては、大会特別規則で認められた場合に限り、併催承認クラスのみ作業を認められる場合がある。

2. 2017 シーズンの運営について (運営マニュアルの確認)

- 本年度全日本シリーズより、他種目同様に、メディカルパスポートを導入(推奨)しています。負傷時、少しでも円滑に治療ができる体制を整える為の制度です。全日本シリーズの選手受付時に配布されますので、必要事項をご記入頂き、ライダーご自身で身に付けて頂くか、同行者様にお預け頂き、万一の場合にすぐに提示できるようにして下さい。

継続審議

2018年からのゼッケンカラーについて

(案) IA:赤地/白文字 IB:紺地/白文字 NA:黄色地/黒文字 NB:白地/黒文字 承認:白地 → ※文字色未定
W:紫地/白文字“左上にW”

3. その他

■ ライセンス登録状況の報告

2017年3月31日締めめの2016年度MFJ競技ライセンスは、全体で前年比101%と微増となりました。(新規92%と減少したが、継続は102%と微増)

エンデューロライセンスは、全体で前年比111%と増加し、その内訳は、国際が117%、国内が108%です。

さらに、4月1日から開始された2017年度MFJ競技ライセンスの登録状況が報告され、エンデューロライセンスは、前年同日比123%と幸先良く、特に国内ライセンスが141%と増加しています。

- 東北エンデューロ部会より、エンデューロ競技役員の設定について再度要望されました。
- 九州より、エリア選手権にてオンタイム方式で年3回開催し、回を重ねるごとにエリア拡大し3回目には一周距離100km以上のコース設定を想定していることが報告されました。
- 中日本大会の約2週間前に「フリーライド」として、コスモスポーツランドにて80名程度の定員の走行会とスクールを実施する予定であることが報告されました。

以上